

目黒稲門会会報



(題字: 眞仁田 勉 初代会長)

第105号 2024年12月

事務局: 〒153-0065 目黒区中町1-33-2 Tel: 03-6789-6549
発行人: 川崎 秀一 編集長: 細谷 清 事務局長: 伊東 佳行
ホームページURL: <http://me96tomon-waseda.la.cocan.jp/>

2025年新年会開催のご案内

2025年新年会を、1月19日(日)ホテル雅叙園東京にて下記の通り開催いたします。新しい年を迎え、今年こそはと飛躍を誓う方、家族の節目の行事に思いをはせる方、一年を無事に過ごしたことに感謝される方、いろいろな新年があろうかと思いますが、共通するのは早稲田で学んだという一事です。目黒稲門会で集えばあの青春の一時期に戻れます。おなじみの方も、久しぶりの方も、おおいに飲み、語り合い、会の最後は皆で「都の西北」を高らかに歌いあげましょう。新春らしく、昨年のお新年会で好評だった早稲田大学落語研究会をお招きしております。皆様には新年を迎えて何かとご多用のところと存じますが、ご家族おそろいで多数ご参加下さいますよう、下記にご案内申し上げます。

記

- 日時: 2025年1月19日(日) 16時30分開会
(受付開始 16時)
- 会場: ホテル雅叙園東京 2階「華しずかの間」
目黒区下目黒1-8-1、Tel 03-3491-4111
(JR目黒駅東口より1時間に3便の専用バス便もあり)
- 懇親会: 17時～19時
(新春落語 早稲田大学落語研究会を含む)
- 会費: 会員 10,000円、ご家族 5,000円
三菱UFJ銀行 学芸大学駅前支店
(普) 0450905 目黒稲門会 伊東 佳行
(メグロトウモンカイ イトウヨシユキ)
当日は受付担当会員も新年会を楽しむ時間を確保するために、上記の口座への事前の振り込みをお願い致します。
- 同封の返信用はがきを、12月25日(月)までにご返送下さい。電子版会報の方は、下記URLのフォームよりご出欠のご回答をお願い致します。
URL:<http://me96tomon-waseda.la.cocan.jp/2025shinkai.html>



ホテル雅叙園東京 HP より転載

早稲田大学落語研究会のご挨拶

私たち「早稲田大学落語研究会」は、1948年に故小沢昭一氏らによって創設された日本最古の落語研究会です。

当初より落語をはじめとした伝統芸能の“鑑賞”を主な活動とし、現在もプロの噺家さんをお招きしての「鑑賞会」や「わせだ寄席」といったイベントにより、同世代の学生にこうした芸能を広めていくことを目的としています。

また、近年は会員自らも落語を稽古して実演を行う機会が数多くございます。

現在は早稲田大学を中心に集まった個性豊かなメンバー20名ほどの会員で日々活動中です。

新年を江戸の笑いで盛り上げたいと思います。

よろしくお祈りいたします。

早稲田大学落語研究会 幹事長 近藤うた



各部会からの案内・報告

俳句部会

第170回 俳句部会 10月14日(月)

(順不同)

川井素山	倒木の根が 天を向く 秋出水
保井寶正	木守柿 主なくして 今更地
佐久間喬	創業から 神の水とや 新走り
丸山酔宵子	角灯や 満つる湯舟に 林檎群
吉田啓悟	秋燕はいそがしそうで 目黒川
青木英林	仏壇の 供物はすでに 熟柿なり
山本草風	稲架襖 とりて山々 近く寄る
渡辺鯨波	長生きを 恨む日もあり 熟柿落つ
後藤克彦	隠れん坊 鬼も隠れる 猛暑かな
原 晶如	忍城に またも攻めたり 秋出水
永井正孝	一枚の 刈り田となりて 陽を残す

中原主宰の選んだ秀句と評

倒木の根が 天を向く 秋出水

映像を見ていて覚えている人も多い 樹皮も洗われて白い根が天を指す

仏壇の 供物はすでに 熟柿なり

堅い柿を供物とした筈なのに気が付けば既にブヨブヨなんてことはよくある

長生きを 恨む日もあり 熟柿落つ

柿の長生き=熟柿である。そして余り長命なものも忸怩(じくじ)たる思いがあると

一枚の 刈り田となりて 陽を残す

他はまだ刈っていない早稲を先に刈ると、そこだけ目立つ。一枚という見え方となる。それでも陽を残す。逆に残っている一枚でも



第170回俳句部会懇親会

俳句部会長
佐久間 喬

囲碁部会

9月22日に参加者8名で終了した25期第3ラウンドは、1位市川、2位永田氏、3位山住、小倉氏でした。

9月19日(木)に9月定例会部会を「あごわん真珠」で開催、優勝小岩氏、準優勝永田氏でした。参加者8名。

10月5日(土)に参加者8名で開始した第4ラウンドは、第6週現在永田氏の初優勝が確定し、暫定2位の小岩・市川両氏次第で、単独優勝か否かが確定。

10月17日(木)に10月定例会部会を「あごわん真珠」で開催、優勝山住氏、準優勝永田氏でした。参加者7名。

囲碁部会長 市川 亘

食べ歩き部会

10月2日(水)、11日(金)に目黒稲門会恒例の新そば会を「更科堀井」麻布十番本店で開催しました。

初めに、堀井良造会員から今年の新そばの産地や献立の説明がありました。今年には北海道雨竜郡産のそばを使っているとのことでした。前菜4点盛りの後に松茸そばが、その後、そば寿司、そばがきと



献立

そば、最後にかき揚げ天ぷら、更科そば、二八そば、十割そばが出ました。おそばはお代わり自由です。今年もおいしいそばとお酒でおおいに盛り上がりました。参加者計29名。



第1回新そば会



第2回新そば会

世話人 金井豊男、小杉哲

10月26日(土)、当会初めての秋のBBQを大井町の



秋のBBQ

GROVE cafe&greenで開催しました。参加者21名。

世話人 吉野博明
伊東佳行

麻雀部会

8月19日(月)の第94回定例会での8名の対戦は、優勝は本田氏、2位は鈴木氏、3位は村上でした。10月21日(月)の第95回定例会での8名の対戦は、優勝は岩本氏、2位は猪名川氏、3位は石橋氏、BB賞は港の犀川氏でした。

次回は12月16日を予定しています。

麻雀部会長 村上 桓

音楽を楽しむ会

第6回は8月24日(土)、上目黒住区センターで



8月24日音楽を楽しむ会

開催、参加者は15名でした。参加者リクエストによる歌16曲を全員で歌いました。

9月11日(水)第3回カラオケ分科会(音楽を楽しむ会)をコートダジュール学芸大学西口店で開催しました。参加者8名。

第7回は9月28日(土)、上目黒住区センターで開催、参加者は12名でした。7曲全員で歌った他、早稲田大学校歌を音符を見ながら合唱(低音部)の練習をしました。

10月1日(火)第4回カラオケ分科会(音楽を楽しむ会)をコートダジュール学芸大学西口店で開催しました。参加者7名。



10月1日カラオケ分科会

11月4日(月)第8回音楽を楽しむ会を目黒区民センター社会教育館レクリエーションホールで開催しました。参加者13名。

音楽を楽しむ会代表世話人 広井 幹也
カラオケ世話人 菊地 崇之

ゴルフ部会

11月7日(木)、8日(金)に設立25周年記念大会を那



10月8日第53回ゴルフ部会

須国際カントリークラブで開催しました。

参加者は7日10名、8日は新入会員1人を迎えて11名。

初日は寒かったものの、2日目は雲一つない快晴のもと、プレーを楽しみました。

新ペリア方式のハンデで、1日目の優勝は狩野さん、2位は鈴木さん、3位は猪名川さん、BB菊地さんでした。

2日目の優勝は安居院さん、2位は狩野さん、3位は池上さん、BB加藤さんでした。

ゴルフ部会長 石橋 義久

スポーツ観戦部会

11月10日(日)秋季リーグ優勝に臨んだ早慶2



11月10日スポーツ観戦部会

回戦。

前日の1回戦は1対9Xで大敗。早大は初回に1点を先制したが4回、8回に各1点を反撃され、そのまま1対2で敗れた。

早明の勝率は同率となり、11月12日にプレイオフで秋季の優勝を決する事に。

試合後の反省会で対明治戦での奮起を願い、美味しいお酒を酌み交わしました。

早稲田スポーツ観戦部会長 狩野俊夫

女性企画

「女子企画ランチ」改め「女性企画」として新たにスタートした、女性企画の第一弾として、松方正彦会員のバースデーライブに、男性・女性含め、総勢7名が参加しました。会場の All Of Me Clubは、30年続く老舗のJAZZバー。そこで毎年ライブを続けている松方さんの実力がいかんなく発揮された素晴らしい演奏でした。

第一部はスタンダードJAZZ、第二部は山下達郎メドレーで、みんながよく知っている懐かしい曲がみごとにジャズにアレンジされていて、びっくり。第三部は松方さんの好きな曲のリズムアレンジバージョン、と盛りだくさんで、ボローニャ仕込みの美味しいイタリアンとともに堪能してきました。



9月30日女性企画

女性企画世話人 泉 実紀子

いち月会

9月2日(月)の定例会は、梅山飯店で参加者は15名(初参加者:石橋さん)でした。10月7



9月2日いち月会

いち月会部会長 菊地 崇之

日、11月5日の定例会は、居酒屋土間土間 自由が丘店で、参加者は各14名、15名でした。

ウォーキング部会

2024年7月17日(水)「長津田十景をめぐる(大山道第三回)」参加者 9名

梅雨明け直前で、最高気温は30度前後と蒸し暑い日だった。東急長津田駅南口から直ぐの曹洞宗隋流院(大林寺の末寺)に向かった。現在本堂はセレモニーホールに建替えられており、火伏観音はその中に鎮座しているようだ。

南に下り大山街道に出て、東へ数百メートル行くと、下宿常夜燈と石造物群(道祖神、馬頭観音、庚申塚等)が道路脇に現れる。ここは宵闇のなか旅人を迎えてきた下宿の灯。長津田の宿場町の歴史を象徴する歴史的資産である。1817年に、大山講中によって造られた。



下宿常夜灯



大林寺山門前にて

再び駅前方面に戻り、曹洞宗大林寺に向かう。江戸時代の小田原北条氏の旧臣で、天正19年(1591)に旗本に取り立てられて500石の知行を長津田村に得た岡野家の菩提寺。本堂他は2008年に再建されている。大きな鐘が有名だそうだ。

大林寺前の駅前通りを渡り、小道に入るとマンションの一角に福壽稲荷の小さな祠がある。通称「お七稲荷」。この地の領主・岡野氏の分家の柳田(岡野忠勝)家は、「八百屋お七」を吟味した盗賊追捕役の家来だった。処刑時に柳田家当主がお七の乗った馬の手綱を持った縁で祠を敷地内に建てた。

大山街道に戻り、西に向かうと大石神社の急坂が見えてくる。参道の途中にある上宿常夜燈は天保14年(1843年)に、長津田上宿中の秋葉講中(あきはこうちゅう)が建立したものだ。大石神社は王子神社とともに長津田の鎮守。ご神体が六歌仙の一人、在原業平との伝説が残っている。

大石神社の向かい側にある横浜市立長津田小学校の校舎に沿って坂を北へ進むと、八坂神社の北側の崖の上に出る。「皇太子殿下御野立(おのだち)之碑」が、日露戦争等の慰霊碑と並んで立っている。大正10年の陸軍大演習で、当時の皇太子殿下(後の昭和天皇)が演習をご覧になった場所である。眼下に恩田川とその周辺、横浜線・東急線の線路や向こうの丘陵を一望できる場所だ。

ここから先は余りの暑さと急坂の上り下りからの疲れをおぼえたので、大石神社の西側にある長津田小学校の脇から長津田宿市民の杜のなだらかな山道を辿り、東急田園都市線つくし野駅前の住宅街を抜け、冷房の効いた電車に乗って終了した。



左から日露戦争慰霊碑、御野立之碑、慰霊碑

2024年9月18日(水)「玉川上水を歩く(第4回)」代々木緑道から四谷大木戸跡まで歩く。参加者10名。

2024年10月24日(木)「神田川クルーズ」参加者19名。



神田川クルーズ

ウォーキング部会長 吉野 博明

会員の広場

目黒に住んで

上田あや (2005年法/2009年法研)

今回は、私が所属している「目黒消防団」についてご紹介します。



私は目黒で育ち、目黒で結婚し、目黒で子ども2人を育てております。上の子は、げっこうはら子ども園から東根小学校、下の子ども学大にある保育園を卒園後、東根小学校に通っております。私自身も子どもたちも、地域のあたたかな見守りのなかで育てていただいたと感じております。何かご恩返しをしたいなと考えたときに浮かんだのが、消防団でした。2022年5月から所属しております。

さて、消防団に所属していると、さまざま質問をお受けすることがございます。皆さまは消防団につき、どのようなイメージをお持ちでしょうか？普段、よく聞かれる内容にお答えします！

Q1.消防署員と何が違うの？

消防職員は、消防士さんなど常勤職員の方々です。一方、消防団員は、「自分の町を自分で守ろう！」と集まった非常勤の方々です。会社員や自営業者など、普段は別のお仕事をされている方が多いです。私も普段は区議会議員をさせていただいておりますが、火災の際には団員として出動します。

Q2.火災現場に飛び込んでいくの？

いいえ、基本的に散水/撤収補助など、消防士さんの補助が主な任務です。私は以前、交通整理を行いました。付近の車に「この先火事です！迂回してください！」というお役目。「嫌だ！迂回したくない！」と仰る方に対しては「ご案内します！」とダッシュすることになっています。ゼーゼー走ると、皆さん黙ってついてきてくれます。

Q3.体力がないとできないって本当？

いいえ、体力のない女性も活躍しています。確かに装備はちょっと重いのですが……、お互いに気にかけてながら、無理のない範囲で活動しています。

いかがでしたでしょうか。首都直下地震が30年以内に発生する確率は70%程度と言われております。目黒区内では4,500棟もの建物が焼失するとの予測。共助として、わずかでもお役に立てればいいな、と思いつながりながら活動しております。

消防団は、拍子木を打つての見回りなど、年末年始も活動があります。ちなみに最近「マッチ一本火事のもと！」とは呼びかけず「火の用心！」のみです。マッチを知らない世代が多くなったためです。また目黒区では「焼肉焼いても家焼くな！」に代わり「サンマ焼いても家焼くな！」を使っております。



目黒消防団始式参加

災害用トイレやベッドの組み立て訓練など。写真は、トイレトーパーを頭に載せて遊んでいる私…ではなく、三角巾の手当訓練をした私です。



住区消防訓練のひとつ

ホース撤収/雑用係です！ホース撤収の速さには自信があります！朝は6時40分集合。団員を支えるご家族の皆さまにも頭が下がります。我が家は夫が協力的で助かっております。



操法大会

地域の小学校にて行われる花火大会。火を使うので、消防団の出番です！



花火大会

雅な世界と異端の家系図

市川 亘 (昭和51年 商)



いにしへの 奈良の都の 八重桜 けふ九重に 匂ひぬるかな

皆さんご存じの百人一首の伊勢大輔 (いせのたいふ) の名歌です。



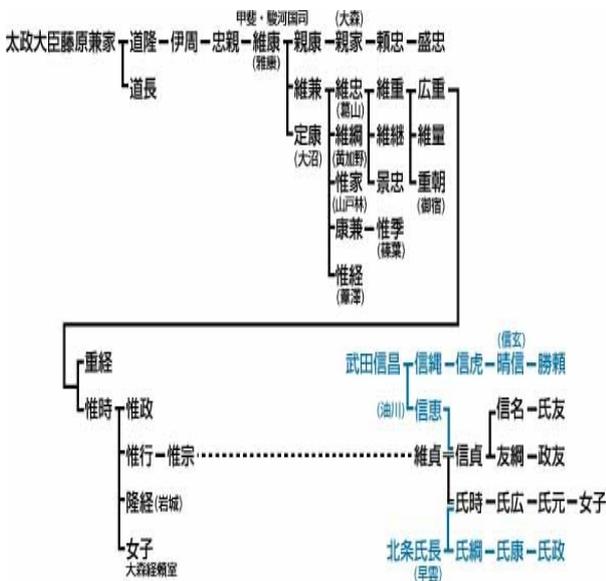
「けふ」は「今日」と「京」の二つを意味し、前者は「いにしえ」と対比され、後者は「奈良」と対比されています。また、「九重」は宮中を意味し、「八重」と対比されています。

意味は、いにしへの奈良の都で咲いていた八重桜は今日この京都の宮中でも綺麗に咲き誇っていますよ、と言った意味です。

紫式部の後任として伊勢大輔 (伊勢神宮の神官の娘) が就任しましたが、その折りに奈良の寺から満開の桜の木が宮中に献上されました。藤原道長は新任の伊勢大輔のレベルを試そうと「何か歌を詠め。」と命じます。即興で大輔は上の歌を詠み、そこに居た一堂はあまりのよさの良さに驚愕したとのことです。百人一首に選ばれたのも当然ですね。

さて、何故この和歌を冒頭に掲げたか？ これを書いているのが桜の季節と言うこともありますが、実は、昔より駿河の国に「大森氏・葛山氏系図」と言う大家系図が存在します。実はこの家系図と関係があります。

以下はその家系図の略図です。



問題はこの家系図の三代目の藤原伊周 (これちか) と四代目の忠親 (ただちか) です。

伊周は容姿端麗でかなりの教養人であったが、一方で心幼き人物であったと、清少納言等の同時代の人々が書物にて評しています。また、叔父の藤原道長と権力闘争したが、破れ37歳の若さで病没しました。正史では一男二女をもうけたとありますが、他に次男もおり、また三男もいたという説があります。その三男が忠親なのです。

ではこの忠親の母親は誰か？それは伊勢大輔である、と昔から根強く主張されてきました。しかし、伊勢大輔は記録によれば、高階成順に嫁いでいます。ということは、伊勢大輔が高階成順に嫁ぐ前にできた子か、さもなければ不倫によりできた子と言うこととなります。どちらにしても表には出せない子であったのかもしれませんが。

略図を観ればお判りのことと思いますが、武田氏や北条氏の家系図にも絡んできています。

武家の家系図はでっちあげが多いと言われていす。この「大森氏・葛山氏系図」もそうなのか？しかし駿河の駿東郡のいくつかの寺や旧家に家系図として、いろいろな形式で現存しているのも確かなのです。

また、もしでっちあげであるなら、何故歴史上権力の座を掴み取ることなく若死にした伊周の系図としたのか不思議です。道長の隠し子とした方がよっぽど箔がつくと思います。

因みに、私の母の母 (つまり祖母) は葛山氏の分家の御宿氏 (みしゅくし) の出で、市川氏も葛山氏のかなり後代の分家です。葛山氏の菩提寺の仙年寺には葛山氏及びその分家の一つとしての市川氏の墓を観ることができます。

現在この家系図は裾野市により整理編纂されています。

私の長兄 (早稲田法卒、弁護士、故人) は、明治期までの親族の戸籍謄本を私に手渡し、先祖を調べるようにと託しました。私はその遺志を継ぐものです。

いずれ折りをみまして、伊勢大輔が忠親の母親であるとする説の由来等を調べてみたいと思います。

(注) 歴史上、藤原忠親と同姓同名で中山忠親とも呼ばれた人物がいますが、この人物は伊周とは100年以上もの時間の開きがあり、別人です。

目黒稲門会に入会して

長谷川 直子 (1998年人間科学部)



予備自衛官になるまでの道のり

大学卒業後は自衛官になることは全く想定しておらず、金融機関やシンクタンクでリスク管理の仕事をしていました。

東日本大震災の時、私は生命保険会社の社員として被災地の相談会に参加した際、自衛隊が被災者支援に尽力している姿を目の当たりにし、感動と感謝の気持ちを抱きました。更に今年の能登半島地震でも、私の地元である富山県で、自衛隊による親戚や友人を含む被災者支援に深く心を打たれました。

これらの経験を通じて、40過ぎて司法書士資格を取得したことだし、年齢的にも社会に恩返しをするべき時期だと感じ、予備自衛官になる決意をしました。



司法書士としての役割

自衛官の応募資格は30歳未満ですが、医師・看護師・弁護士・司法書士等の専門技術を持つ者は55歳まで応募可能であり、予備自衛官として日本の防衛と社会貢献に関わる機会が得られます。

私は司法書士の専門資格を活かし、法務分野で応募しました。法務官としては、作戦の法的適合性や国際法との比較検討、災害時の法律相談が主な任務です。

訓練と戦友との絆

予備自衛官としての訓練は仲間と寝食を共にする厳しい環境の中で、戦闘訓練や銃の分解結合、実弾射撃などを経験しました。実弾を扱う際の緊張感は忘れられませんし、分単位で動く生活の厳しさもありましたが、その中で共に訓練を乗り越えた仲間たちは、まさに「戦友」と呼べる存在です。

様々な年代や専門職の仲間たちと助け合いながら深めた絆は、これからの私の活動で大きな支えです。

予備自衛官の使命

近年の自然災害やウクライナ戦争を通じ、国民の生命と財産、そして日本の安全を守るために自衛隊の重要性が一層増している現実に対し、私は国や家族を守るため、自分の専門性を活かし、予備自衛官として国防に貢献していきたいと思っています。予備自衛官は「常に徳操を養い、心身を鍛え…」とサービスの宣誓をします。その通りに練度を高め、災害や防衛の招集があれば、迷わず志願して全力で任務に取り組む所存です。



予備自衛官訓練修了証
教官・同期と記念写真

目黒の坂巡り

鉄飛坂

内山 信夫 (昭和60年 教育学部)



編集長から「鉄飛坂」(てっぴざか)について何かしたためる、との指令を受けたものの、何ら特長ナシ、近所のちょっと長めの急坂でしかない住宅街の坂を題材に、さて何を書いたものか、祖父が坂の途中に所有していた貸家を、わが一族郎党が「鉄飛の家」と呼んでいたという皆さんには何の関心も喚起しない極めて個人的な思い出に。場所は都立大学・大岡山両駅の真ん中あたり、中根小学校から呑川を越えて東に向って真っすぐの坂、という単なる地理的事実を述べた時点で早ネタ切れ、それなら取り敢えず名前の由来でも、と思い立って調べてみたら案の定、テッピさんとか言う人が近くに住んでいたらしいけど諸説あり、なんて極めてありがたいでユルユル地誌を見つけたのみなので、それなら方針転換、坂のテッペンに帝釈堂という小さな神社(または寺)がございます。



帝釈堂前



堂内の帝釈塔と題目塔

WIKIによると、庚申塚(人の心が荒む、といわれる60日毎の「庚申の日」に講を組んで夜明かしをした記念に寄進したもので、江戸時代に大流行)が数基あって、古い方が1680、1685年ですから、「生類憐みの令」、又は「おくのほそ道」のころ、あるいは「忠臣蔵」の少し前、新しい方が1842年なので幕末前夜、二宮尊徳さんや遠山の金さんのころ、ということは恐らく当時、江戸からギリギリ日帰り圏内の雑な田舎と思われる辺境の地にも、そこそこの歴史と碑念村の村人たちの生活の息吹が通っていたことを感じます。

蛇足ながら、お堂から南に向かう一本道は瀟洒な高級住宅街で、かつて俳優の柳生博さんがお住まいだったそうです。またお堂から都立大学駅方向に下るもう一つの名無し坂の途中に、私を輩出した名門「志のぶ幼稚園」が鎮座しております。昨今の少子化で近隣にあった「むさし幼稚園」「みどり幼稚園」「東光寺幼稚園」が続々と閉園するなか、変わらぬ繁栄は同慶の至りです。というわけでいやはや、何とかノルマ文字数に達したようなのでそろそろ帰りましょうか。



坂上から下へ

それでは皆さん、サヨナラ サヨナラ サヨナラ

会員ギャラリー

『都心の秋 - 丸の内風景』 水彩 F6

大杉 邦雄 (1965年 法)



風景画に人物を描き入れると、動きが生まれ、絵がにぎやかになる。街の風景などは、人がいなかったら寂しいし不自然だ。丸の内界隈は、ウィンドウショッピングをする人や、歩行者が多く、今回はできるだけ多くの人物を描き入れてみた。

『目黒川の桜の紅葉』 写真

山内 宏 (昭和56年 教育)



目黒川の桜の紅葉、アートモードで撮影のため赤を強調していますが、目黒川の桜は春と秋にも楽しめます。 撮影日:2018年11月16日

新入会員

鈴木 雅行 (1981年 理工建築学科)



(在住) 茨城県守谷市
1957年5月 東京都大田区仲六郷出身、都立小山台高校から早稲田大学理工学部建築学科へ入学。同期の友とは年2回程 飲み会などで親睦を深めている。1981年4月東急建設(株)入社。首都圏中心に建設施工を担当、途中札幌支店、大阪支店に転勤する。

2020年6月に40年勤務した東急建設を退社。

1999年より茨城県守谷市に在住。趣味としては読書や家庭菜園、たまのゴルフや小旅行などで日々暮らしています。

校友会便り

10月20日(日)は、卒業後15年目、25年目、35年目、45年目、50年目の節目を迎える校友が心の故郷に帰るホームカミングデーと稲門祭でした。

目黒稲門会の「帰郷」対象者は10名で、式典は早稲田アリーナに於いて午前、午後



第59回早稲田大学ホームカミングデー2回に分けて行われました。

稲門祭は、午前の式典終了後に開会しました。当会有志は、お昼過ぎから大隈庭園の芝地に三々五々集まり、福引抽選まで、オールドベアーズ、ハ



ワイ民族舞踊研究会、ニューオルリンズジャズクラブ稲門会、ハイソサイエティオーケストラ、グリ

ークラブの稲門音楽祭2024を楽しみました。

稲門音楽祭

当会員の今年の参加者は11名で、その仲間と会場を高田馬場駅近くの「居酒屋清瀧」

に移して、打ち上げをしました。爽やかな秋空の下で陽を十分に浴び、早稲田での青春を思い出し、会仲間と語り、美酒の酔いで締め括った一日を満喫しました。

お悔やみ申し上げます

※2023年10月～2024年10月(敬称略)

- 大内 秀明 (1958年文) 2023年10月12日(87歳)
- 荒瀬 修一郎(1953年法) 2024年4月1日(94歳)
- 土川 俊雄 (1966年政経) 2024年5月3日(81歳)
- 大久保 健治(1962年理工) 2024年8月 (86歳)

編集後記

木々の葉は色付き落ち、天高くして実りの秋深し。東京六大学野球秋季リーグ戦優勝決定戦では明大を撃破して4年ぶりの優勝、おめでとう。

稲門祭・早稲田祭も多くの出し物で、盛況でした。会報も円熟した元気な姿をお届けします。(細谷記)